

編集後記

編集委員を引き受けてから間もなく2年がたとうとしている。この間ほとんどお役に立てなかった後悔と学会誌の編集を支えている方々に対する尊敬の念がこみ上げてくる。渡された役割分担表で編集後記をこの時期に書くことを知ったとき、その後の2年間で起こることを想像して、新装置建設、第14回プラズマ理工学国際会議(ICPP2008)開催等の出来事から感じることを編集後記に書けばいいだろうと考えていた。2年が過ぎ、新装置 QUEST は運転を開始し、ICPP 2008が開催されて関連論文はPFRとJPFR seriesの8巻として発刊予定となっている。その経験で感じたことは自分の無力と多くの方々のご尽力に対する感謝であり、学会に対しても感謝の気持ちでいっぱいである。書き出せばきりがなくらいであるが、編集後記を記すにあたってはむしろ最近の世の中の動きの中で出版に関する懸念について触れることにした。現在世の中では新型インフルエンザの話でもちきりであり(この文章が印刷される頃には鎮静化していることを祈るが)、情報・経済だけではなく疾病も地球規模で考えなければならない状況を実感する。一方、最先端の情報の発信源である論文出版でこのような状況に逆行するような動きがあり心配している。昨今、論文は電子化され、パソコンから多くの論文を簡単に検索し、読むことができる。夜中に鍵を開けて図書室に行き、電燈をつけて無人の閲覧室で論文を探し、コピー機でコピーをして持ち帰っていた時代とは隔世の感があり、しばらくはその便利さに狂喜していた。ところが電子化された論文はパッ

ケージ化され、独占状態となり、高額化が進んでいる。このままでは研究者の懐では論文を購入することができなくなるかもしれないということである。研究者は自分の得た研究成果という情報をできるだけ正確に早く世の中に知らしめて検証・評価を受け、成果を一般化・発展させることで世の中の役に立つことを目指して日々努力をしている。論文出版はまさにその礎となる大事なプロセスである。しかし論文(情報)は商品となり、情報が重要であればあるほど高値で取引をされるような仕組みが構築されれば、高額な論文料を支払うことのできる一部の人のしかその情報を手に入れることができなくなり、論文が本来の意義を失うのではないかと危惧する。(もちろん読まれなくなった論文は、引用数が減り、価格が下がるといった自浄作用が働くとは思いますが)研究者が研究の成果を論文として情報を公開し、出版社はできるだけ多くの研究者にその情報が行き渡るように論文の購読者を増やす努力をするとともに、そのことが出版社の収益にもつながるといふこれまでの研究・情報公開・検証の正のスパイラル構造から、負のスパイラル構造に陥ることを心配する。プラズマ・核融合学会の出版する論文も電子化が進んでいる。研究者にとってそれは大変ありがたいが、そのご苦労には頭が下がる。その苦労の先にあるものが本当に研究者あるいは世の中に貢献のできるものになるよう本来の意義を見失わない努力もぜひ維持し続けてほしいと思う。

(花田和明)

プラズマ・核融合学会役員

会 長	松田慎三郎	副 会 長	三間 園興	本島 修	常務理事	中村 幸男(総務委員長)
理 事	秋山 秀典(企画委員長)		板垣 正文		伊藤 早苗	
	今井 剛(広告委員長)		奥野 健二		加藤 敬(財務委員長)	
	近藤 光昇		笹尾真実子		佐野 史道(出版委員長)	
	寺井 隆幸(編集委員長)		畑山 明聖(広報委員長)		浜口 智志(プログラム委員長)	
	林 康明		森 雅博			
監 事	飯尾 俊二		松尾 慶一			

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディター 寺井隆幸(東大)

エディター 関子秀樹(九大)、田中雅慶(九大)、福山 淳(京大)、村上匡且(阪大)、室賀健夫(核融合研)、行村 建(同志社大)

編集委員 石島達夫(名大プラズマナノ)、伊藤清一(広島大)、打田正樹(京大エネ科)、江原真司(東北工大)、大谷寛明(核融合研)、大矢恭久(静大理)、菊池祐介(兵庫県立大)、栗本祐司(シャープ)、後藤基志(核融合研)、齋藤和史(宇都宮大)、酒井 道(京大院工)、榊原 悟(核融合研)、坂本隆一(核融合研)、佐藤 聡(原子力機構)、佐藤杉弥(日本工業大)、田中照也(核融合研)、田中康規(金沢大)、長友英夫(阪大レーザー研)、浪平隆男(熊大院自然)、島山賢彦(東北大金研)、花田和明(九大応力研)、濱口真司(核融合研)、林 伸彦(原子力機構)、平田孝道(東京都市大)、森 道昭(原子力機構関西)、吉川正志(筑波大院数理)、吉田弘樹(岐阜大工)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第85巻第6号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市中種区内山3丁目1-1 4階

社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: <http://www.jspf.or.jp/> 定価1,365円(本体1,300円)

印刷 株式会社荒川印刷

2009年(平成21年)6月25日

本誌に掲載された寄稿等の著作権は(社)プラズマ・核融合学会が所有しています。

編集委員会開催日について 当学会誌の編集委員会は原則として、毎月第1火曜日に開かれています。但し、都合により変更になる場合があります。